

# まちづくり

No. 113

広島市中区社会福祉協議会  
令和7年3月 発行

〒730-0051 広島市中区大手町4丁目1番1号 大手町平和ビル5階  
Tel.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp

中区社協HP Facebook

## 令和6年度に表彰を受けられた方々

<b>ボランティア功労者厚生労働大臣表彰</b> ほのほの広島会 様 (2024年度 広島市社会福祉大会) ほのほの広島会様 表彰式の様子	<b>県社協会長表彰</b> 澤田 誠輝 様(白鳥地区社協) 法貴 美子 様(広瀬地区社協) 守本 肇 様(江波地区社協) <b>県共募会長表彰</b> 澤井マユミ 様(中島地区共募委員会)	<b>市社協会長表彰</b> 木谷 栄治 様(袋町地区社協) 中川 智之 様(吉島東学区社協) 福本 幹子 様(袋町地区社協) 吉本 征司 様(本川地区社協) 木村 構臣 様(袋町地区社協) 上本 輝昭 様(本川地区社協) 渡邊 健介 様(袋町地区社協) 井上 宗博 様(本川地区社協) 小柳 広士 様(竹屋地区社協) 新井 君子 様(江波地区社協)
--	--	--

## ボランティアセンター通信

### 点訳ボランティア入門講座を開催しました!

令和7年2月4日～25日の毎週火曜日(全4回)、点訳ボランティアサークル点字会のみなさんを講師に迎え、点訳ボランティア入門講座を開催しました。点字版を使用して、「あ・い・う・え・お」の基礎から打ちはじめ、最終日には、文章の打ち込みまで行いました。点字の打ち方のみでなく、視覚障がいの方の普段の生活等について、「誰のために・何のために必要なものなのか」のお話もしていただきました。受講生からは「今回の講座で点字には法則があることを初めて知った。視覚障がいの方は、難しい法則を理解して読まれていることを知ることができてよかった。」「点字の仕組みは覚えることは難しいけれど、楽しい!少しずつ覚えていきたい。」等の感想が寄せられました。



### 「和会」もちつき・講座 報告



1月14日(火)にボランティアサロン「和会」ではもちつきをしました。

前日からもち米を洗って準備し、当日は「つくたてのお餅は、美味しいね。」等と話しながらみんなで食べて楽しく賑やかな会となりました。

2月12日(水)には講師をお招きし、眠りについての勉強会を開催しました。講師の方お話の後にも、参加者から活発に質問が飛び交いあっという間に時間が過ぎ有意義な時間となりました。



### 令和7年度ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや往復途上の事故、損害賠償責任(相手を誤ってケガさせる、活動先の物を誤って壊してしまう等)を補償する保険です。

現在加入中のボランティア活動保険の補償期間は令和7年3月31日迄です。

継続してボランティア活動を予定されている方はボランティア登録をしている社会福祉協議会で、更新手続きを行ってください。

- 基本プラン.....350円
- 天災・地震補償プラン.....500円

申し込み  
問い合わせ

広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター  
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階  
TEL.082-249-3114 FAX.082-242-1956  
✉ naka@shakyohiroshima-city.or.jp http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



## 地域防災・福祉フォーラム2025

～自分たちのまちは自分たちで守る!～

〔中区防災講演会〕を開催しました

令和7年1月25日(土)に、本会と中区自主防災会連合会、中区役所、中消防署が主催しJMSアステールプラザにて、「地域防災・福祉フォーラム2025～自分たちのまちは自分たちで守る!～(中区防災講演会)」を開催しました。

当日は、区内各地区より400名以上の方々にお集まりいただき、NHK広島放送局ニュースデスクの森野周様、同気象キャスターの大隅智子様を講師にお迎えして、南海トラフ巨大地震や異常気象に関する講演をしていただきました。



取材や専門知識に基づくお話は、多くの方にとって災害をより「自分事(じぶんごと)」として考える後押しとなり、防災に関する認識を幅広く共有できる機会になったと思います。

本会も引き続き「安心して住み続けられる中区のまちづくり」への参画を通じて、関係各所とともに災害への備えと地域の防災力向上を目指して参ります。



## セブンイレブン寄贈

広島市社協は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、広島市と「商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定」を締結し、県内セブン-イレブン店舗閉店時に在庫商品の寄贈を受けることとしています。

このたび、これに伴う寄贈の申し出があり、中区事務所で寄贈を受けることとなりました。令和7年1月24日(金)に物品の受け入れを行い、1月27日(月)に配布会を実施いたしました。配布会では9団体に寄贈物品をお渡しすることができました。

今後も有効活用ができるよう、引き続き連携を強化してまいります。



## くらしの困りごと

# 中区くらしサポートセンターにお気軽にご相談ください



様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方のための相談窓口です。「長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない」、「家計のやりくりが難しい」、「借金を抱えて生活が苦しい」などのご相談をお受けしています。専任の相談員があなたと一緒に考え、サポートいたします。



相談日時

平日 8:30 ~ 17:15  
(土日、祝日、8/6、12/29 ~ 1/3は除く)

対象

中区在住で、現在生活保護を受給されていない方

お問合せ

中区くらしサポートセンター 中区大手町四丁目 1-1 大手町平和ビル 5階 (中区社会福祉協議会内)  
TEL: 082-545-8388 / FAX: 082-264-6413 Eメール: kurasapo@shakyohiroshima-city.or.jp

※相談員が訪問等により不在にしている場合があります。来所によるご相談の場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

## 弁護士無料法律相談のお知らせ

広く住民の日常生活のあらゆる相談に応じ適切な助言、援助を行い、地域住民の福祉増進を図ることを目的として、広島みらい法律事務所の協力を得て、弁護士による法律相談を開催します。

日時

令和7年4月16日(水)  
13:00 ~ 16:00

相談時間

原則一人30分(先着6名まで)

相談料

無料

開催場所

中区地域福祉センター 5階  
福祉団体共通作業室

相談内容

弁護士による法律相談  
→親子関係、多重債務、破産、過払い金取り戻し、離婚、相談、土地のトラブル、少年事件など

申込方法

予約制(先着順)

令和7年3月17日(月)午前8:30から受付を開始します。  
本会まで電話またはFAXにてお申し込みください。

【申込先】 広島市中区社会福祉協議会  
電話 082-249-3114  
FAX 082-242-1956



## 手をつなぐ育成会中区支部学校親の会(ポップコーン)

# 「土曜教室」活動紹介



「土曜教室」は、障がいをもつ子どもたちの余暇活動の充実、参加者同士の交流を目的に、親子同士やボランティアさんと一緒に季節ごとの行事や工作・外出などの活動をしています。

今年度は、ポウリング大会、工作教室、バスハイク、クリスマス会、もちつきなどを実施しました。

来年度も引き続き開催していく予定ですので、ご興味のある方は中区社会福祉協議会までお問い合わせください。

参加対象 ▶ 中区にお住まいの特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に通学している子どもたちとご家族。(原則、ご家族との参加ですが、移動支援事業所のヘルパーさんやガイドヘルパーさんとの参加でも構いません)

## 作業所の仲間の 作品展示中

中区地域福祉センター5階エレベーターホールで、中区にある作業所の仲間による作品の展示をしています。手芸や絵、自主製品などを紹介しています。お近くにお越しの際はぜひご覧ください。



協力いただいた  
作業所

アイラブ作業所様、あおぎり様、カープクラブ様、作業所わくわく様、はーとふる様、パンダハウス様、もみじ作業所様(50音順)

## 第23回 あなたのまちの 元気さん紹介



今回の元気さん 要約筆記サークル「おりづる中支部」支部長 生活支援員 小林 則子さん

### ボランティア活動を始められたきっかけを教えてください。

市の広報紙を見て、人の役に立てるのではないかと思い要約筆記の講座へ参加したことがきっかけです。

それまでは、要約筆記を知りませんでした。その後活動を続けて30年近くになりました。現在は他にも、生活支援員(かけはし)、食生活改善推進委員、統計調査員等の活動もしています。



### 趣味は何ですか?

父が音楽が好きという影響もあり、子どもの頃から歌う事が好きでした。

今も合唱団に入って週に1度は練習に参加し、年に2回はコンサートにも参加しています。

また、主人の趣味である将棋を観戦するために、県外への旅行も楽しみの一つです。



### 最後に一言お願いします!

忙しい中でも日々充実し、楽しく過ごしています。嫌なことがあってもすぐに忘れて、前へ前へとこれからも進んでいきたいです。

ありがとうございました。

## 令和6年度 中区認知症介護講演会を開催しました



2月20日(木)中区地域福祉センターにて、認知症介護講演会を実施し、事前申込の38名の方が参加されました。

第一部では、講師に「社会福祉法人三篠会 小規模多機能型居宅介護事業所SHIRAKI梯(かけはし)」の管理者である森山由香氏をお招きし、「家族のための認知症ケア～『あなたのことを大切に思っています』というメッセージが伝わる介護技術～」と題して、心を通わせる介護についてお話しいただきました。

同じ話や行動を何度も繰り返す認知症の妻の在宅介護に悩む夫やその娘の日常を、映像を通して見て、共感し、介護技術によって劇的に変化していく様子を目の当たりにし、会場からは驚きの声があがりました。

相手の顔の正面から、長く見つめ、しっかりと触れ、ゆっくり

と、抑揚をつけて、ポジティブな内容を話すという介護技術です。

認知症によって脳の機能が低下しても「感情記憶」は残っているため、その感情に働きかけることの重要性、あなたを大切に思っています、大好きですと伝えることが、相手の心を開かせ、残存機能を復活させ、介護をする人される人両者にとって、幸せで良好な関係を築くために不可欠であることを学びました。

第二部の座談会には14名の方が参加されました。すでに看取った家族への後悔の念や、胃ろうや点滴といった延命治療などについて、実体験や今後の準備についての質問も活発に交わされ、それぞれの思いを語り合えた有意義な時間となりました。



## 赤い羽根共同募金 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました!

今年度も広島市中区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに赤い羽根共同募金運動(期間:令和6年10月1日~12月31日)を実施し、5,199,481円(令和6年12月31日現在)の募金をいただいております。ご協力ありがとうございます。

社会の変化のなか、赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福

社の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

赤い羽根共同募金は、みなさんのお住まいの地域で幅広く活用されています。中区社会福祉協議会ではお寄せいただいた募金は、ひとり親家庭の子どもや障がいをお持ちの方、高齢者等の交流活動など、皆さんの住むまちの地域福祉活動へ活かされています。

## あたたかいご寄附を ありがとうございました

皆さまのご寄附は、福祉のまちづくりの推進のために、大切に使用させていただきます。  
【物品寄附】木村 千代様 桑田 隆輔様(50音順) (令和7年2月28日現在)